

第1号議案

2024年度事業報告及び収支決算報告について

I. 2024年度事業報告

九州支部では、学会本部と緊密な連携を保ちながら、地域の特色を捉えた学会活動を進めてきた。
5月17日(金)に第30回九州支部総会を開催した。
その他の2024年度の事業内容は次のとおりである。

1. 会議関係

(1)本部関係

会議	開催日	主な議題
第220回本部理事会	2024年5月10日(金) WEB併用	第1号議案 会員入会及び退会承認の件 第2号議案 役員辞任承認及び補欠役員候補選任の件 第3号議案 評議員辞任承認及び補欠評議員推薦の件 第4号議案 2023年度事業報告(案)承認の件 第5号議案 2023年度決算報告(案)承認の件 第6号議案 電子帳簿の保存に関する規程制定並びに電子データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程廃止の件 第7号議案 第36回定時総会に附議すべき事項の件
第41回評議員会	2024年5月10日(金) WEB併用	第40回評議員会議事録 会員の推移と現況 2023年度下期職務執行状況報告 2023年度決算(案)報告 2024年(第42回)全国大会実施計画 2024年度主な行事予定 電気設備学会会員勧誘のお願い(会員委員会) その他 会員入会勧誘のお願い
第36回本部定時総会	2024年6月7日(金) 委任状・書面併用	第1号議案 2023年度事業及び決算報告承認の件 第2号議案 補欠役員選任承認の件 報告事項 2024年度事業計画及び収支予算報告
第221回本部理事会	2024年9月13日(金) WEB併用	第1号議案 会員入会及び退会承認の件 第2号議案 次期役員候補対象者選定特別委員会設置、委員承認の件 第3号議案 代議員の定数を定める件 第4号議案 評議員辞任承認及び補欠評議員推薦の件 報告事項
第23回本部・支部担当者連絡会	2024年11月15日(金) WEB併用	2025年度予算及び2024年度決算等について 2025年度支部交付金について 電気設備学会競争法コンプライアンス指針の制定について 電子帳簿保存法に関する規程等の制定について 2025年3月代議員選挙における代議員定数の決定について 支部からの意見・要望など その他 ・2025年度支部総会日程等について ・本部事務局業務分担表 ・学生研究発表会並びに全国大会について
第222回本部理事会	2024年12月13日(金) WEB併用	第1号議案 会員入会及び退会承認の件 第2号議案 評議員辞任承認及び補欠評議員推薦の件 第3号議案 全国大会優秀発表賞受賞者決定の件 第4号議案 2026年(第44回)全国大会開催地の件 第5号議案 次期役員の定数を定める件 報告事項 2024年度上期職務執行状況

会議	開催日	主な議題
第42回評議員会	2024年12月13日(金) WEB併用	会員の推移と現況 2024年度上期職務執行状況報告 2024年度収支報告(4月～9月) 2024年(第42回)全国大会終了報告及び次年度開催計画 2025年度主な行事予定 その他 会員入会勧誘のお願い
第223回本部理事会	2024年3月7日(金) WEB併用	第1号議案 会員入会及び退会承認の件 第2号議案 会費長期滞納者の退会処理の件 第3号議案 シニア特別会員対象者承認の件 第4号議案 出版物廃棄承認の件 第5号議案 代議員選挙立候補者の確認 及び理事会推薦候補者の選任の件 第6号議案 次期役員候補者推薦の件 第7号議案 2025年度事業計画(案)承認の件 第8号議案 2025年度収支予算(案)承認の件 第9号議案 第25回会長賞受賞者決定の件 第10号議案 第13回学会功績賞受賞者決定の件 第11号議案 第36回電気設備学会賞部門別受賞者決定の件 第12号議案 第18回星野賞受賞者決定の件 報告事項

(2)支部関連

会議	開催日	主な議題
第30回総会	2024年5月17日(金)	第1号議案 2023年度事業報告及び収支決算報告について 第2号議案 2024年度事業計画及び予算案について 第3号議案 役員の選任について
第128回役員会	2024年5月17日(金)	2024年度九州支部役員について 2024年度九州支部年間行事について 講習会、見学会について 学会誌掲載状況の報告 本部理事会の報告
第129回役員会	2024年9月6日(金)	役員の交代と退任について 2024年度(第17回)九州支部賞候補者推薦について 講習会・見学会・講演会について 30周年記念事業について 九州支部だよりについて 本部理事会、評議員会の報告
第130回役員会	2024年12月6日(金)	2025年度支部総会について 2024年度(第17回)九州支部賞候補者選定について 講演会・講習会・見学会について 本部理事会、本部・支部担当者連絡会の報告 九州支部だよりについて
第131回役員会	2025年2月28日(金)	2025年度九州支部年間行事について 2025年度講習会・見学会・講演会について 電気・情報九州支部連合大会について 2025年度支部総会について 30周年記念事業について

(3)電気・情報関係学会九州支部連合大会

会議	開催日	主な議題
電気・情報関係学会 九州支部連合大会 2024年度第1回 大会委員会・合同会議	2024年5月14日(火) Web会議	2023年度大会委員会議事録確認 2023年度決算報告 2024年度大会会告 2024年度大会委員会について 2024年度大会日程表について
電気・情報関係学会 九州支部連合大会 2024年度第2回 大会委員会	2024年9月5日(木) Web会議	2024年度第1回大会委員会・合同会議議事録確認 2024年度連合大会の現況報告 2025年度大会委員の選出について 2025年度連合大会開催校および開催期日について
電気・情報関係学会 九州支部連合大会 2024年度第3回 大会委員会	2024年9月26日(木) 鹿児島大学	2024年度連合大会開催状況報告 2024年度学生ポスターセッション集計作業手伝い
電気・情報関係学会 九州支部連合大会 2024年度第4回 大会委員会	2024年12月6日(金) Web会議	2024年度大会委員会議事録確認 2024年度大会開催報告 2024年度各担当からの報告・引継事項 2025年度連合大会について
電気・情報関係学会 九州支部連合大会 2024年度第5回 大会委員会	2025年3月7日(月) Web会議	2024年度大会委員会議事録確認 2024年度連合大会委員会 会計報告について 2025年度連合大会開催について 2025年度連合大会委員会について

2. 講演会、講習会、見学会

(1)講演会

「福岡市の防災・減災」～覚えておこう災害への対応～

◆ 日時・場所 2024年5月17日(金) TKPガーデンシティPREMIUM天神スカイホール

◆ 講師 福岡市市民局地域防災課 松下淳一氏

◆ 参加者 49名

◆ 概要

今年元旦に発生した能登半島地震を受け、急遽地域防災活動ならびに普段の備えについて講演をいただいた。ハザードマップの種類(洪水、内水、高潮、土砂災害、地震、津波)について説明を受け、どこで確認できるのかを教えていただいた。また、ハザードマップを用いて事前に災害リスクを把握する方法や準備しておくものなどについてお話し頂いた。

また、能登半島地震の際に記録されたドライブレコーダーの映像なども交えて、いかに災害に直面すると気が動転して何をしようか分からない状況に陥る様子も見せていただいた。普段からの備え、避難経路の確認・避難手段などの大切さを教わった。

避難生活において備蓄の重要性、備えた方が良いものなどを講演頂いた。その中で特に気になったのが非常用・携帯トイレであった。実際に避難生活を送った方々が重宝したということであった。

災害から命を守るポイントは、日頃から災害を自分の事として考える。災害が起こりそうになったら災害モードのスイッチを入れる。災害が起こったら自助・共助で助け合いとのお話であった。

(2)講習会

「九州発の焼酎かすを使った創電」

- ◆ 日時・場所 2024年9月6日(金) TKPガーデンシティPREMIUM天神スカイホール
- ◆ 講 師 福岡工業大学 教授 田島大輔 氏
- ◆ 参 加 者 35名
- ◆ 概 要

田島先生が研究されている『焼酎かすを利用した電気二重層キャパシタ』について講演頂いた。
これまで焼酎を生成する過程で多くの焼酎粕が発生しており、その処理において多大な処理費用が費やされてきた。焼酎粕の多くは家畜の飼料や肥料化、コンクリート化、メタン発酵に利用されている。また、ロンドン条約で焼酎粕の海洋投棄が禁止されている。

キャパシタをつくる工程は、焼酎粕を炭化させてできた炭化物に賦活し、活性炭を生成する。この活性炭に導電材と結合剤を混ぜ、熱プレス機にて圧粉成型したものに電極・セパレータ等を重ね密閉して完成する。電池の充放電試験を行い、得られた充放電カーブより静電容量を算出し評価した結果、市販の活性炭と比較して約14.5%高い静電容量、約22%低い内部抵抗が得られた。エネルギー密度は従来キャパシタの約2倍の20-30Wh/kgが得られた。

産業廃棄物をキャパシタに応用した研究として、もみ殻・コーヒー粕、ゆず残渣、竹、廃プラスチックなどもあり、これらの次世代電池で災害・緊急時の電気を確保したいとのことであった。

「ジャンボタニシをやっつけろ」

- ◆ 日時・場所 2024年12月6日(金) TKPガーデンシティPREMIUM天神スカイホール
- ◆ 講 師 九州大学大学院総合理工学研究院 准教授 柳生義人 氏
- ◆ 参 加 者 40名
- ◆ 概 要

柳生先生が研究されているテーマの一つで電気と生物の関係から行動制御や防除技術の開発を目指している『ジャンボタニシの工学的防除法』について講習いただいた。

ジャンボタニシは、南アフリカ原産で1980年代に食用として日本に持ち込まれた。孵化から3ヶ月程度で産卵し、あっという間に大量発生する。1984年には水田作物への食害が問題化している。生息地域は西日本を中心に35都府県にわたっている。

ジャンボタニシの工学的防除法として、電気ショックによる行動抑制、オゾンによる行動抑制、電気刺激による散乱防止、超音波による殺傷効果、電気による誘因効果などが挙げられる。この中で電気による誘因効果に着目した取り組みを紹介して頂いた。

ジャンボタニシが電気に反応し、マイナス極方向に移動することを発見。また、走電性試験を行い印加電圧が高いほど走電性を示す傾向にあることが判明した。ただし、電圧もしくは電流だけを上昇させても走電性が見られない。また、孵化した直後から走電性が見られることが判明した。

現在は電気誘引とリン酸第二鉄剤を併用による防除技術の開発と社会実装に向けて実フィールドで検証しているとのことであった。

(3)見学会

「八丁原発電所：九電みらいエナジー(株)見学会」

- ◆ 日時・場所 2024年10月16日(水)
- ◆ 参 加 者 24名
- ◆ 概 要

昨今、地球温暖化が顕著化し、脱二酸化炭素が叫ばれ再生可能エネルギーの利用が望まれている。今回の見学先は、日本最大の地熱発電量を誇る大分県九重町にある八丁原発電所である。阿蘇くじゅう国立公園の一角にあり九重連山の麓に位置している。

八丁原発電所には2台の発電機各々55,000kWの出力があり、合計110,000kWである。これは一般家庭の3万7千軒分の電気に相当する。1977年に1号機、1990年に2号機が営業運転を開始している。中央監視室は無人で随時監視方式を採用している。また、約2km離れた大岳発電所から遠隔で操作することも可能である。

地熱発電は、地熱という自然の力を利用した発電方法であり、地下から取り出した蒸気を利用するクリーンな発電方法である。火力発電のボイラーの役割を地球が担っており、マグマで暖められた地下水を汲み上げ蒸気を取り出し、再び地下に戻す再生可能エネルギーである。また、八丁原発電所では毎時890tの蒸気を使用している。蒸気と熱水に分離し、蒸気を1次蒸気としてタービンへ送り、熱水はフラッシュャーで圧力を下げ再び蒸気を発生させ2次蒸気として利用している。

世界的にみると日本は地熱埋蔵量の割には発電量が低いことが気掛りである。更なる地熱の活用が必要であると考ええる。

「(株)かわでん九州工場見学会」

- ◆ 日時・場所 2024年11月19日(木)
- ◆ 参加者 35名
- ◆ 概要

配電制御システムのリーディングカンパニー『(株)かわでん九州工場』の工場見学を実施しました。かわでんは、本社を山形県と東京都に構え、工場は山形県と佐賀県の2か所においている。大正15年に創設し、2026年には創立100周年を迎える企業である。九州工場は1994年に開業している。

九州工場の建物正面には岡本太郎作オブジェ「若い夢」が設置しており見学会でも紹介があった。また、かわでんのロゴマークに描かれている社名前のマークも岡本太郎作とのことであった。

九州工場では平成19年に新板金工場が竣工している。工場内では効率化を図る目的でライン生産方式を従来から採用してきた。大量生産には向いているが柔軟性に欠けるため、ここ数年はセル生産方式を一部取り入れ客先の要望に応じているとのことであった。このことで作業者のスキル向上にも繋がっているとの事であった。生産方式の立案に関しては現場サイドからの意見を集約して行っているとの事であった。塗装に関しては、完全に自動化されたラインと従来からの手作業ラインの2種類を保有しており函体と細かなパーツとで使い分けている。工場内で設計・部品調達・塗装・組立・配線・試験を一貫して行っている。九州工場は、佐賀インターチェンジ近くに位置しており、南は沖縄から北は愛知あたりまでを網羅しているとの事であった。

3. 第17回 九州支部賞

(1)優秀業績賞(該当なし)

受賞者	所 属	発表テーマ

(2)全国大会優秀賞

受賞者	所 属	発表テーマ
廣松 健介	(株)正興電機製作所	スマート保安による保安業務の実現
曾根原 史堯	日本電設工業(株)	廃棄物の有効活用による資材納期遅延対策
黒田 達郎	(株)九電工	データセンターにおけるバスダクト施工検討
村脇 啓太	(株)九電工	阿蘇くまもと空港のPFM設備について
江上 世奈	(株)九電工	プラグ式接続コネクタを活用したシステム照明工事の生産性向上の取り組み

(3)功労賞

受賞者	所 属	受賞理由
花井 正広	元福岡大学 教授	2016年から2024年までの8年間に渡り支部役員として九州支部に尽力頂いた。

4. 第77回電気・情報関係学会九州支部連合大会(他学会との連係活動)

- ◆ 日時・場所 2024年9月26日(木)～9月27日(金) 鹿児島大学
- ◆ 講演件数 363 件

5. 建築設備士第二次試験受験準備講習会(本部主催)

- ◆ 日時・場所 2024年7月14日(日) アクロス福岡
- ◆ 参加者 100 名

6. 2024年(第42回)電気設備学会全国大会

- ◆ 日 時 2024年8月27日(火)、8月28日(水)
- ◆ 会 場 東北工業大学(八木山キャンパス)
- ◆ 一般講演・ポスターセッション
- ◆ 特別講演「創建1300年を迎える多賀城跡について」吉野武氏
- ◆ シンポジウム「サイエンスパーク構想」

Ⅱ. 2024年度収支決算報告

(2024年4月1日～2025年3月31日)

科目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 収入の部				
1. 事業収入	440,000	607,120	167,120	
・講演会費	0	0	0	
・講習会費	300,000	280,000	▲ 20,000	建築設備士講習分配金
・見学会費	140,000	327,120	187,120	技術者協会共催金
2. 交付金収入	1,270,000	1,270,000	0	
・本部交付金	1,270,000	1,270,000	0	
3. 雑収入	0	40,495	40,495	
・受取利息	0	1,405	1,405	
・その他懇親会収入	0	39,000	39,000	
・口座統合	0	90	90	収益口座の廃止
当期収入合計	1,710,000	1,917,615	207,615	共催金増による
前期繰越金	3,424,813	3,424,813	0	
収入合計	5,134,813	5,342,428	207,615	共催金増による
Ⅱ 支出の部				
1. 事業費	1,030,000	909,696	▲ 120,304	
技術向上費				
・講演会費	180,000	150,185	▲ 29,815	
・講習会費	250,000	272,291	22,291	
・見学会費	400,000	354,291	▲ 45,709	
・支部連合大会費	50,000	50,000	0	
表彰事業費				
・支部賞関係	150,000	82,929	▲ 67,071	
2. 管理費	1,535,000	1,145,906	▲ 389,094	
・交 通 費	200,000	64,082	▲ 135,918	
・通信運搬費	20,000	3,014	▲ 16,986	
・事務用品費	50,000	7,449	▲ 42,551	
・印 刷 費	20,000	2,332	▲ 17,668	
・会 議 費	500,000	460,005	▲ 39,995	
・諸 会 費	0	0	0	
・支払手数料	15,000	9,185	▲ 5,815	
・支部総会費	700,000	569,839	▲ 130,161	
・渉 外 費	20,000	30,000	10,000	
・雑 費	10,000	0	▲ 10,000	
3. 予備費	124,813	0	▲ 124,813	
当期支出合計	2,689,813	2,055,602	▲ 634,211	
次期繰越金	2,445,000	3,286,826	841,826	
支出合計	5,134,813	5,342,428	207,615	